

# そらこめ通信

No.66 2016年1月号

このたびは弊社の米をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。日頃よりご愛顧頂いております皆様にはこの場を借りて厚くお礼を申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。本年も昨年同様、変わらぬお付き合いのほどよろしくお願い申し上げます。

今年の冬は比較的気温が高く、雪も平年に比べて少ないため、我々一般住民にとってはとても過ごしやすい年末年始でした。雪かきの回数も数えるほどしかなく、拍子抜けするほど楽しております(笑)。しかし、グループの中には除雪を請け負う会社もあり、笑えない状況が続いております。農業同様、自然相手の商売ゆえ、焦ってみてもしょうがないのですが・・・。ちなみに、今シーズンの沼田町における積雪深(12月21日現在)は市街地で42センチとか(沼田町ホームページより)。昨年同日は61センチ、一昨年同日は54センチという事で、ホームページ上で表示された3年間の中では最も低い数字になっています。昨年や一昨年でさえも、「こんなに少ないの?」と思った記憶があります。やはり、地球は温暖化しているのでしょうか。

昨年の12月16日に、拓殖大学北海道短期大学の主催による第49回農業セミナーが大学内で開催されました。農産物の輸出増加について国を挙げて叫ばれている昨今の現状を鑑みて、今回のテーマは「地域の活性化は北海道農産物の海外輸出から!」～北海道の可能性～でした。学生に混じって一般参加もOKのこのセミナー、私が参加したのは今回で3回目です。昨年まではいわゆる「軽トラマルシェ」など、自作の農産物をどうやって一般の人に売り込むか・・・などが主なテーマでしたが、今回はそのものズバリ輸出がテーマ。「十勝川西長いも」など先進事例は結構あります。自分としては非常に参考になったセミナーでした。



農業セミナーが開催された拓殖大学北海道短期大学(深川市)(12月16日)



基調講演をするJETROの白石さん



セミナーに参加した人たち



弊社の2人～真面目に聞いているかな



JA帯広川西の常田さんのご講演のようす



昼食・試食会のようす～食材は全てこの大学の農場で生産されたものです。「芽生さくらむらさき」と「きらら397」のちらし寿司は絶品。



JA湧別町の野田さんのご講演のようす



富良野地方卸売市場の田中さんのご講演



本学農学ビジネス学科長の岡崎さんです



パネルディスカッションのようす



本日のテキスト～大変参考になりました



弊社農場のようす(12月16日午後)



新年が明けました～社屋内に祀られた神棚と社屋の外観(2016年1月1日朝8時頃)



雲の間から初日の出(1月1日9時頃)

気候としては実に穏やかな年明けでしたが、株価は年初から世界中で値を下げた剣呑な幕開けになりました。中国経済に対する懸念が強く、上海などでは制定したばかりのサーキットブレーカーが適用され市場がストップしたとか。株の世界では「申酉騒ぐ」という格言があるようで、この先の回復に期待するところ大です。日本経済の繁栄を期待しつつ、ほんの少しだけ「おすそ分け」を頂きたいと願う今日この頃です。

インターネットで美味しいお米!

(株)空知こめ工房 ホームページ  
<http://www.sorachi-kome.jp/>  
 ブログ「生産日誌」更新中です